

# とよの町民会議 レポート No.7

発行責任者/共同代表 長越利秋 高木正晴  
E-mail/toyonock@yahoo.co.jp

## はじめに

共同代表 高木 正晴

皆様には桜を存分お楽しみになられ、お元気にお過ごしのこととお慶び申し上げます。日頃は「とよの町民会議」の活動にご協力、ご支援を賜り誠にありがとうございます。さて、3月豊能町議会は町長から新年度予算を含む計 22 議案他 1 件、議会からは予算に対する修正案(否決)1 件、付帯決議(否決)を含めて 6 件の議案、合計 30 件が提出され熱のこもった討論もありましたが、結果としてはいずれも原案が可決されました。木代地区の建設残土崩落という不幸な事故もあり、豊能町の多難な前途をいかに乗り切ることが問われる議会でもありました。議会および各委員会での審議では昨年と同じように、町長答弁の稚拙さから“暫時休憩”が頻発され、“田中町長は経験を通じて成長する”との町民多数の期待は裏切られつつあります。

「22,000 人の命と財産を守り、安全・安心の町づくり」を本分とする町長は、苦しい時こそ明るく前向きに先頭に立って住民、職員を引っ張るという強い信念と気概を持って欲しいと願う次第です。

## 平成 26 年度予算案が可決される！

### 1. 予算総括表

|        | (概算予算金額)       | (前年比)  |
|--------|----------------|--------|
| 一般会計   | 62 億 5,000 万円  | +1.8 % |
| 特別会計   | 58 億 4,500 万円  | +4.8 % |
| 水道事業会計 | 9 億 9,900 万円   | +7.8 % |
| (合計)   | 130 億 9,400 万円 | +3.6 % |

### 2. 町財政の基盤である町税(町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税)

- 1) 平成 26 年の町税予想は 19 億 5,600 万円と大台割れ
- 2) 豊能町の総人件費は町税を上回っており、税収対策、更なる合理化が必要

### 3. 平成 26 年度予算に計上された身近な事業

|   |  |          |
|---|--|----------|
| 1 | 吉川小学校の耐震診断、東ときわ台小学校のトイレ改修、他  | 4,720 万円 |
| 2 | 健康づくり推進事業<br>1日1万歩運動の推進のため、歩道及び公園遊歩道の整備  | 980 万円   |
| 3 | 光風台駅前エスカレーター更新の実施設計<br>議員から“エレベーターも含めた検討”の提案が有りましたが否決<br>(“下りが無い現状” “車いす”等を考えるととってもな提案です。) | 500 万円   |
| 4 | 自治会管理の防犯灯のLED化補助<br>2力年でLED灯に更新(長寿命化、電気代の削減)   | 3,742 万円 |
| 5 | 公用車“おでかけくん”の買い替え   | 196 万円   |
| 6 | 小学校給食の調理業務委託   | 1,712 万円 |
| 7 | 中学校給食デリバリー方式で開始  | 2,866 万円 |

## すでに 50～60 億円も費やしたダイオキシン問題、さらに 10 億円？

昨年 10 月末に、東ときわ台の旧消防本部倉庫に移管されたダイオキシン高濃度汚染物について、残されている課題は、無害化処理とクボタ訴訟(6 億円超の追加請求)への対応です。

### 町民 423 名の要望を無視し、町内戸知山での無害化処理に向けて一直線か？

ダイオキシン高濃度汚染物が封入されたドラム缶 198 本の無害化処理について、低負担(数千万円)で短期に実現が期待される「国崎クリーンセンター(C.C.)」で行うよう正式に申入れすべきとの要望書を、豊能郡環境施設組合(管理者/豊能町長、副管理者/能勢町長、以下組合と呼ぶ)へ豊能町民 423 名の署名を添えて平成 26 年 2 月 19 日に提出しました。短期間に多数の賛同署名をいただいた皆さまには、厚くお礼申し上げます。

ところが、その後 2 月 26 日開催の組合議会において、“豊能郡美化センター焼却施設内汚染物処理審議会条例”が提案され、可決されました。そして、新条例による審議会(専門家会議)は、高負担(数億円)で長期間必要な豊能町内での無害化処理(処理施設の新設)を前提としたものであることが判明しましたので、私達は再度、3 月 10 日、「本審議会で、①国崎 C.C.での無害化処理、②新たに建設する自前の無害化処理施設での処理、の 2 案についての比較検討および利害得失をまとめ、その結果を町民に明確に説明することを求める趣旨の要望書」を組合へ提出し、その写しを豊能町議会議員全員にも手渡ししました。

その後、田中町長は 3 月議会での処理施設建設場所に関する議員の質問に対し、「木代地区戸知山」と明言していますので、現状では国崎 C.C.での無害化処理を検討する意思はないように推測されます。

しかしながら、私達は、以上の要望の実現に向けて強力にフォローして行く所存です。

| 豊能郡環境施設組合とのやり取り |           |   |
|-----------------|-----------|---|
| 2 月 19 日        | とよの町民会議   | 国崎 C.C.での無害化処理の検討を求める要望書を提出   |
| 2 月 26 日        | 豊能郡環境施設組合 | 組合議会で、町内に建設する無害化処理施設での処理を前提とした審議会(専門家会議)の設置条例を可決                        |
| 3 月 10 日        | とよの町民会議   | 審議会で、①国崎 C.C.での処理 ②自前の無害化処理施設での処理 の 2 案を比較検討し、利害得失をまとめて発表することを求める要望書を提出 |

### さらなる負担増が懸念されるクボタ訴訟！

平成 19 年 3 月で、一旦終結したかに見えたダイオキシン問題は、平成 23 年 10 月請負業者の(株)クボタが、豊能郡環境施設組合に対して 6 億円を超える巨額の追加支払を求める訴訟を起こしたことで、極めて深刻な事態に立ち至っていることが判明しました。

この訴訟の請求内容は、10 数件に及び追加工事の経費(1 億 7,700 万円)と、工事延長に伴う人件費の増加(4 億 3,500 万円)、合計 6 億 1,200 万円という内容で、その請求金額は当初契約金額約 14 億円の 4 割を超えるものです。この訴訟は、昨年中に争点整理をほぼ終えているものと推察され、この 5 月末から裁判所での和解協議に入る模様です。

私達はまもなく、和解するか判決を待つか？どこまで争うのか？など、重大な決断を迫られることとなりますが、この問題が組合議会で十分に審議された経緯はありません。

本年 2 月 26 日、一町民から組合議会議長に対し、クボタ訴訟の裁判記録を取寄せ、内容を検証し、ダイオキシン汚染物無害化事業に対する総括を行うための、十分な調査活動を期待できる特別委員会設置の要望書が提出されましたので、この結果についても、フォローして行く所存です。

## 希望ヶ丘の一住民の声！

2月25日夜7時40分頃、自宅が突然停電。原因がわからず、懐中電灯を持って表に出ると、希望ヶ丘は闇に包まれていました。近隣の方も、「このようなことは初めてです」と驚いておられ、何か嫌な予感がしました。翌日、自宅近くの残土の山が崩落して、電柱をなぎ倒したことがわかりました。報道映像によって崩落の規模を知って、あの時あの箇所を移動していたら、生き埋めになっていたに違いないとぞっとしました。

昨年2月、大阪市内から転居してきた時に、集中豪雨や台風で残土の山が崩落するのではないかと不安を感じて、すぐに豊能町役場に電話を入れました。池田土木事務所の所管なので、そちらに連絡して欲しいという答え。池田土木事務所に連絡すると、電話口に出られた方は、「指導しているのですが、なかなか聞き入れてもらえない。」という話で、危機感の希薄さにやりきれないものがありました。それから一年後に最悪の事態。スピード感のない行政姿勢が、大規模な崩落事故につながったのです。

3月4日、希望ヶ丘自治会主催で説明会が開催されました。集会所のホールは400名を超える人が集まり、立錐の余地なく、廊下にまで人が溢れました。業者の不法行為を止めることができず、住民をいのちの危険に晒した行政に対して、怒りが集中しました。（注：木代地域でも説明会が実施されています。）

4月20日、第2回目の説明会が開催され、集会所には前回同様廊下に溢れる住民が集まりました。大阪府並びに豊能町の説明と答弁には、納得のいかないことが多々ありました。例えば、府道余野茨木線の復旧は切実な課題ですが、現道の復旧に向けて取組みが進められることが示され、そのめどは8月というものです。会場から、「ええ8月！」と悲鳴に近い声があがりました。その工事のために、現場に隣接する田へ崩落した土砂の一部を運び込みます。その土壌調査の結果は、おおむね問題なしということですが、全体の土壌調査は、これからです。土壌や水質汚染の心配は、まだ解消していません。

さらに、復旧等に要する費用は、違法行為をした業者に請求すると府知事は説明していますが、その業者の資産状況を把握しておらず、結果的に府民の税金でまかなわれる可能性があります。そうなれば、土砂崩落被害に加えて税負担も強いられるのです。高校生も発言し、通学のために有料道路経由する臨時バスを運行して欲しいと切々と訴えました。しかし、町長は、既存のバス路線を使って欲しいと回答。迂回路に関わる問題点も多数出されました。説明会は、5時間以上に及びましたが、課題の多くは積み残され、法定整備が立ち遅れていることも痛感しました。

美しい豊能の自然は町の宝です。希望ヶ丘自治会長は、「違法な環境破壊防止と環境改善の条例の制定を心より願うものです」（自治会総会資料）と述べられています。第2回の説明会で、町長は条例を制定すると明言しましたが、その内容と効果の程が問われます。（4月20日記）

## 議員との議論を避ける田中町長！

平成 26 年度の豊能町予算案を審議する予算特別委員会で、最も時間をかけて審議されたのが「光風台駅前エスカレーター更新実施設計事業」です。現状のエスカレーターの基礎をそのまま活用し、その上の構造物を新しいものに更新するという事業案に対し、一部議員から、「将来を見据えて社会的弱者にも配慮し、エレベーターも検討対象に入れて財政負担も考慮し総合的に検討した上で選択すべき」との対案が出されました。しかし、田中町長は、「選挙公約だから」「地元住民がエスカレーターを要望しているから」と答弁し、それ以上の議論を避けました。

ある議員の「高齢者・障がい者・母子福祉、防災、安全の観点から、エスカレーターとエレベーターのどちらが良いか？」との一般質問に対し、担当部長はエレベーターと回答している。また、エスカレーターとエレベーターのトータルコスト(初期投資費用と維持費用の合計額)を比較すると、エレベーターに優位性がより鮮明になることを恐れて、あえて議論を避けたように見受けられました。

## 5/24 豊能町議会 議会報告会を開催！

昨年 7 月に制定された「豊能町議会基本条例」に基づき、「議会報告会」が開催されます。全議員が出席され、平成 26 年度予算案を中心に説明があります。より多くの皆さまが参加されること期待しています。

**ダイオキシン汚染物の移送、建設残土崩落事故と暗いニュースが続く豊能町の  
5年後 10年後の姿・進むべき方向性について、議員さんと意見交換してみませんか！**

|     | 開催日      | 開催時刻                     | 開催場所      |
|-----|----------|--------------------------|-----------|
| 西地区 | 5月24日(土) | 午前 9 時 30 分～午前 11 時 30 分 | 西公民館/大会議室 |
| 東地区 |          | 午後 6 時～午後 8 時            | 中央公民館     |

### 編集後記

ダイオキシン高濃度汚染物の国崎クリーンセンターでの無害化処理の検討を求める要望書は、田中町長に直接面談し手渡ししましたが、署名いただいた 423 名の思いは伝わらなかったようで、それ以降の豊能郡環境施設組合の動きは、私達住民の期待する方向には進んでいないようです。町長選挙時に国崎クリーンセンターでの無害化処理を訴えた田中氏が町長就任後、国崎クリーンセンターの管理者(川西市長)に 2 回打診しただけの感触で、正式申入れを諦め、豊能町内に自前の無害化処理施設を建設しようとしています。住民負担を無視した安易な選択であると言わざるを得ません。

【お願い】本誌に関するご意見・ご感想・ご要望等を、下記のメールアドレスにお寄せください。

[E-mail/toyonock@yahoo.co.jp](mailto:toyonock@yahoo.co.jp)